

ちよつとい話

～ 佛塔の功德～

塔の功德について舍利弗が釈尊に対座して「大威徳ある世尊よ、願わくば、我等が爲に説きたまへ、佛の塔を右に廻りて得る所の果報を」と、お尋ねになりました。塔の功德については『右繞佛塔功德經』と言う經典がありまして、釈尊は38種の功德を説明されています。其の中の一部を紹介します。

1. 在々生を受くる所は八難を遠離して、常に難無き処に生まれる
2. 天、人の中に往来し、福と命と悉く長遠にして、常に大名稱を被る。
3. 淨信、速やかに成し已れば、法に於いて迷惑無く諸行の皆空なるを見る。
4. 母の胎内に在りては、けがれに染まる事無く、淨^{きよ}き摩尼珠の如くなり。
5. 胎内より生まれる時は母をして常に安樂ならしめ、乳を飲むにも亦復然り。
6. 眷属^{けんぞく}皆愛念すること、其の父母を超過し、資財、自から増長す。

7. 大精進の力を具へ、種々の行を勤修するに未だ卑下なし。
8. 勇猛、常に精進なり。堅固にして、なす所の事は速やかに成就する。
9. 深遠微妙の音ありて、聞く者皆歡喜し、安樂にして、常に病無し。

最後に「皆、身業と及び語業を以て讚歎し、佛の塔を右繞うにょうするに由って、此の大利益を成ぜん。諸々の佛塔を右繞して得る所の諸々の功德をば、我れ今、所問に随って、略して説けども詎なんぞ能く盡よきん」と結んであります。結文に因ると利益を受けるには、まず家庭の祀まつりを間違いなく整え、佛徳を受ける器を準備しておく必要があります。奈良の法隆寺、薬師寺、京都の東寺、比叡山えんりやくじ延暦寺等々古くから寺院には塔があり、生きた信仰の確立に寄与しています。塔は必ず三回以上廻めぐって下さい。しかし塔でも先祖供養の為に建てられ、墓としての機能を持ってしまった塔は大衆の機能きのうが果たせませんので御参り出来ません。注意して下さい。当山にも佛塔が御座います。善入院の境内に十三重の佛塔（回りは本四国お砂踏み霊場）、墓地には寶篋印塔ほうきょういんとうがあり、夫々お参りして戴けます。人間として身を修める爲に役立てて下さい。

善入院油掛地藏尊